

ダンゴムシ類

分類 等脚目

学名 Isopoda

英名



写真出展元：公益社団法人 日本ペストコントロール協会

■解説

体は全体が丸みを帯びており、刺激を受けると体を折り曲げて球状になる特異な性質を持つ。体は、青灰色で光沢がある。メスの腹部には、繁殖期に育房ができ、その中に産卵する。ダンゴムシの食性は、食植物性、腐植物食性または、屍植物食性で、幼虫は植物の新芽等の柔らかい部分を食べ、成虫は、キャベツ、キュウリ、トマト、ミミズ、昆虫の死骸等を食べる。

■体長

卵：－

幼虫：－

成虫：14mm(オカダンゴムシ)¹⁾

■産卵数

産卵数/生涯：－

産卵数/1回：20～30卵²⁾

■ライフサイクル

卵：－

幼虫：2年²⁾

成虫：－

■発育零点（発育停止温度）

－

【参考文献】

1) 梅谷献二：野外の毒虫と不快な虫、p331、全国農村教育協会(1994)

2) 田中生男：住環境の害虫獣対策、p454、(財)日本環境衛生センター(2001)